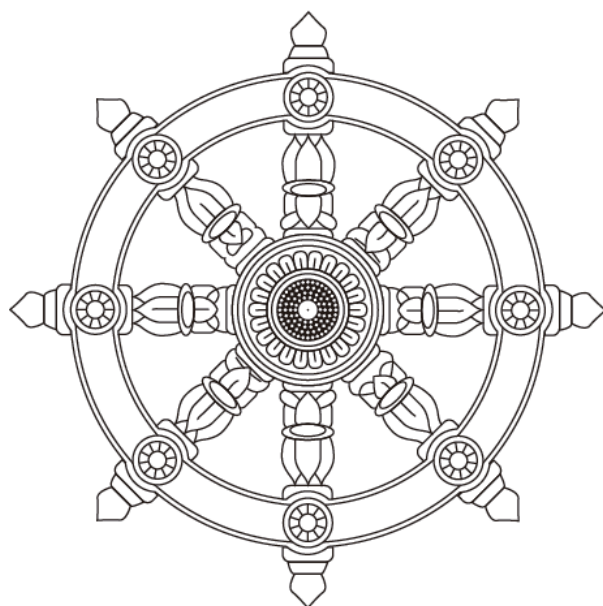


公益財団法人 全日本仏教会

平成26年度震災等支援報告書



公益財団法人 全日本仏教会

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階

TEL 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260

<http://www.jbf.ne.jp>

東日本大震災被災地支援を続けるため、さらなるご協力を



福島県の子ども達をサマーキャンプに招待（写真提供：terra ねっと福井）

本会で常設している「救援基金」から「被災地に本当に役立ち寄り添う、細やかな支援を」と考え、仏教系団体を中心とした被災地支援団体に継続して支援を続けております。第1次～第9次において支援した団体は述べ577団体となりました。（平成27年5月30日現在）

しかしながら、「救援基金」に寄せられる東日本大震災へ寄せられた寄付額は、2014年の段階で震災発生時の2011年に比べ約0.6%まで減少し、支援の継続が困難になりつつあります。

「心のケア」をはじめとして、被災地より支援に関する要望はまだまだ多く、今後も継続した支援が必要な状況です。支援を継続する為、加盟団体・全国のご寺院・檀信徒・門徒、そして宗派・宗教を超えたみなさまのご協力が必要です。皆様の温かい浄財を下記までお寄せいただければ、幸いです。

振込先

郵便振替口座番号：00110-9-704834

口座名義：全日本仏教会救援基金

※銀行振込をご希望の場合、下記全日本仏教会財務部までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】公益財団法人 全日本仏教会 財務部

電話：03-3437-9275

FAX：03-3437-3260

目次

平成 26 年度本会の取り組みについて	P 1
平成 26 年度支援金一覧	P 5
平成 26 年度『救援基金』寄付者芳名	P 6
第 8 次支援 支援団体一覧	P 7
第 9 次支援 支援団体一覧	P 15
第 8 次・9 次 被災地支援活動団体分布図	P 20
「寺院備災ガイドブック」のご案内	P 26
仏教系ボランティア団体からの被災地支援活動報告	P 27

平成 26 年度本会の取り組みについて

本会では、2011（平成 23）年 3 月 11 日の東日本大震災発生後、本会救援基金に寄せられた義援金をもとに被災地・寺院に対する直接支援や、被災地で活動するボランティア団体に助成金を拠出し、後方支援を行ってまいりました。この支援は平成 26 年度までに第 1 次から第 7 次までを実施し、平成 26 年に発行した「東日本大震災支援報告書（第 6 次～第 7 次支援）」に経過記録を掲載させていただきました。また、東日本大震災後に発足した「東日本大震災支援検討会議」は平成 26 年 3 月末をもって終了し、平成 26 年度からは本会救援基金規程に基づいた「支援検討会議」を設置し、より幅広く迅速に支援活動ができる体制を整え支援活動に取り組みました。

本会加盟団体所属のボランティア団体による救援活動は、東日本大震災のみならず、台風・記録的豪雨に対する支援活動など、全国の被災地で活発に行われております。本会はそれらの団体に対し、今後も活動支援を行ってまいります。

まずは、平成 26 年度の本会の取り組み内容を以下のとおり報告いたします。

平成 26 年 4 月 1 日 支援検討会議規程施行 支援検討委員 7 名を委嘱

議 長 倉澤豊明事務総長

委員名 岩田 智充 末廣 久美 茅野 俊幸 新倉 典生

長谷川 正浩 藤森 雄介 村山 博雅（以上敬称略）

6 月 5 日 フィリピン台風災害義援金 2,512,681 円を、仏教 NGO ネットワークに寄託。

7 月 30 日 第 1 回支援検討会議開催（本会会議室）支援検討会議委員 7 名中 6 名出席

協議事項：本会の支援について

- ① ボランティア団体・保養活動団体（東日本大震災等）に対する支援について
- ② 国内外大規模災害に対する支援について
- ③ プラットフォームについて

協議報告：本会の支援について

- ① ボランティア団体・保養活動団体（東日本大震災等）に対する支援について

○本会加盟団体所属のボランティア団体・保養活動団体による災害救援活動に対しエールを送るべく、東日本大震災救援活動に対する支援と同様に、今後も支援を続けるべきである。

○支援にあたっては、東日本大震災を含む、国内外の甚大な災害救援活動を対象とする。

○助成金については、本会救援基金を適切に運用するため、支援活動経費の50%とし、上限を10万円とする。

○第8次支援申請募集にあたり、支援対象活動期間を、平成26年2月1日（第7次募集対象締切日の翌日）から、同年8月31日とし、申請締切日を同年9月30日とする。

② 国内外大規模災害に対する支援について

○今後の大規模災害に対し、迅速に対応をするべきであり、緊急に支援会議を招集すべき場合も想定される。しかしながら、状況を鑑み、議長（事務総長）による決定をもって支援を行う事を可能とする。

○支援金額については、本会の過去の実績にもとづき適正に拠出すべきとする。また、義援金の募集についても積極的に行う事を確認した。

③ プラットフォームについて

○プラットフォーム（災害救援活動情報集約活用場）については、東日本大震災支援検討会議からの懸案事項であり、出席委員で本会の提唱者の藤森委員を中心にワーキンググループを立ち上げる事を了承。

8月1日 第8次支援申請募集案内を加盟団体および、第7次支援までに本会から助成金を支出した団体宛に発信するとともに、本会ホームページ・全仏誌に記事を掲載。

8月12日 台風11号12号による被害に対し、本会理事長名によるお見舞文「台風11号12号による被害にあわれた皆さまへ」を本会ホームページに掲載。

8月25日 広島市北部をはじめとした各地の土砂災害や浸水被害に対し、本会理事長名によるお見舞文「記録的集中豪雨による被害にあわれた皆さまへ」を本会ホームページに掲載。

9月12日 「台風と記録的集中豪雨による災害に対する義援金協力願い」を加盟団体および賛助会員に発信。

9月30日 第8次支援申請を締め切り。

- 10月2日 御嶽山噴火による災害に対し、本会理事長名によるお見舞文「御嶽山噴火により被害にあわれた皆さまへ」を本会ホームページに掲載。
- 10月16日 第27回WFB世界仏教徒会議中国大会において、雲南省地震被害の支援として義援金100万円をWFB経由にて、中国仏教協会へ寄託。
- 10月23日 第2回支援検討会議開催（本会会議室）支援検討会議委員7名出席

協議事項：

- ① 災害救援活動に対する助成金拠出について
 - ◇第8次支援申請9月30日締め切り分について
 - ◇今後の助成金拠出について
- ②プラットフォーム構築について

協議報告：

- ① 災害救援活動に対する助成金拠出について
 - ◇第8次支援申請書9月30日締め切り分について
 - 慎重審議の結果、申請のあったすべての団体（69件）に所定の助成金を拠出することとなった。
 - ◇今後の助成金拠出について
 - 本会加盟団体（傘下）のボランティア団体・保養活動団体による災害救援活動に対しエールを送るべく、東日本大震災救援活動に対する支援と同様に、今後も引き続き支援を続けるべきである。
 - 支援にあたっては、東日本大震災を含む、国内外の甚大な災害救援活動を対象とする。
 - 助成金については、本会救援基金を適切に運用するため、救援活動経費の50%とし、上限を10万円とする。
 - 第9次支援申請募集にあたり、支援対象活動期間を、平成26年9月1日（第8次募集対象締切日の翌日）から、平成27年1月31日とし、申請締切日を同年2月20日とする。
- ② プラットフォーム構築について
 - 継続審議とする事を確認。

11月19日 広島市北部災害に関し、本会の倉澤豊明事務総長と奈良慈徹総務部長が広島市役所に出向し、松井一実広島市長に義援金100万円を手交。

平成27年2月26日 第3回支援検討会議開催（本会会議室）
支援検討会議委員7名中4名出席

報告事項：

- ① 広島市の激甚災害に対する本会の支援の件
- ② 第27回WFB世界仏教徒会議中国大会において、雲南省地震の支援をWFB経由にて、中国仏教協会へ寄託の件

協議事項：

- ① 災害救援活動に対する助成金拠出について
◇今後の助成金について
- ② プラットフォーム構築について
- ③ 平成25年実施の「東日本大震災における日本仏教各宗派教団の取り組みアンケート」の情報開示について

協議報告：

- ① 災害救援活動に対する助成金拠出について
○第9次支援申請書の2月20日締め切り分について、ボランティア活動33件、保養活動の8件は、審議の結果すべての団体に所定の助成金を拠出することで決議した。
◇今後の助成金について
○助成金の原資を確保するため、増収のための具体的な方策を協議し、関係各位にお願いを行う事となった。
- ② プラットフォーム構築について
○前回に引き続き継続審議とする事を確認。
- ③ 平成25年実施の「東日本大震災における日本仏教各宗派教団の取り組みアンケート」の情報開示について
○アンケート提出団体各位との内容確認作業終了後、速やかに本会ホームページにて公開する方向で作業を行う事となった。

以上

＜平成26年度支援金一覧＞

義 援 金 総 額	59 件	¥7,425,901
<hr/>		
救援募金（指定なし）	27 件	¥2,475,957
東日本大震災	5 件	¥676,219
フィリピン台風	3 件	¥2,512,681
台風・豪雨被害	24 件	¥1,761,044
支 援 金 総 額	113 件	¥14,410,877
<hr/>		

＜ボランティア団体・保養活動団体支援＞

	総 額	110 件	¥9,899,000
	第8次支援	69 件	¥6,223,000
	第9次支援	41 件	¥3,676,000

＜その他支援＞

	総 額	3 件	¥4,511,877
フィリピン台風救援活動支援金	1 件		¥2,511,877
広島市北部集中豪雨災害義援金	1 件		¥1,000,000
WFB人道支援基金	1 件		¥1,000,000

平成27年3月31日現在

平成26年度「救援基金」寄付者芳名

(敬称略・ご入金順)

1	西山浄土宗
2	駒込学園
3	真言宗智山派
4	真言宗豊山派
5	小千谷市仏教会(新潟県)
6	齊藤清美(親類一同)
7	佐野友則
8	天性寺(山形県)
9	大阪府佛教会
10	浄土真宗本願寺派 奈良教区 添下組 若院会 会長 鳥見浩憲
11	圓福寺(岡山県)
12	日本仏教鑽仰会 理事長 中山静麿
13	釋明光(台北市佛教会 理事長)
14	圓滿寺(神奈川県) 西郊良光
15	浄心寺(東京都) 佐藤雅彦
16	全日本宗教用具協同組合
17	株式会社 小堀
18	山梨県仏教会
19	融通念佛宗
20	赤松広隆
21	律宗
22	一般財団法人 埼玉県佛教会
23	一般社団法人 日本石材産業協会
24	大塚耕平
25	松平實胤
26	前原誠司
27	時宗
28	有限会社 新宿アカウンティングオフィス
29	松木謙公
30	宮崎市仏教会(宮崎県)
31	玄向寺(長野県) 荻須眞教
32	高野山真言宗
33	青森県仏教会
34	株式会社ディー・エイ・ティ・コーポレーション
35	善光寺(長野県)
36	岡山県佛教会
37	天台宗 一隅を照らす運動総本部
38	茨城県仏教会
39	神奈川県葬祭業協同組合
40	真言宗豊山派福祉基金
41	本門佛立宗
42	神奈川県仏教会
43	金剛院(東京都)
44	森由美子
45	町屋光明寺(東京都) 大洞龍徳

(他5件の匿名寄付有り・同一者による複数回寄付は1寄付者として表示)

第8次支援 支援団体一覧
(平成26年2月1日～8月31日)
1.被災地における支援活動

No.	加盟団体名 活動団体名	支援先・対象者	内 容
1	天台宗 埼玉天台 仏教青年会	宮城県 南三陸町・石浜コミュニ ティセンター	石浜祭りにおいて、料理の提供 焼きそば フ ランクフルト 海鮮焼き 生ビールなど 子ども用ゲームコーナーやスイカ割り 抽選 会の開催
2	高野山真言宗 寶泉寺	宮城県 南三陸町・戸倉地区波 伝谷高台移転地 自然の 家仮設住宅	被災者を訪問し、お茶会 傾聴 SKC本部 にて活動
3	真言宗智山派 普誓寺	宮城県 石巻市・中浦 普誓寺	「夏休み寺子屋」を開催し、被災地の子ども の情操教育を行う
4	真言宗醍醐派 秋葉山大宝院	宮城県 石巻市・たんぼぼの家 釜会館 仮設南境第7団 地 馬小山登山道	写経・数珠作りを通して地域の交流を促す 慰霊法要を通して心のケアを行う
5	浄土宗 心光寺	宮城県 石巻市・石巻仮設住宅 1番谷地西団地	傾聴ボランティア 炊き出し 炊き出し支援 「居酒屋」 住民との交流会
6	浄土宗 福島教区 浜通り組 青年会	福島県 いわき市・中央台高久 第1応急仮設住宅 常盤 銭田応急仮設住宅 内郷 白水応急仮設住宅 平作 町1丁目応急仮設住宅 上荒川第1第2第3応急仮 設住宅 平山崎雇用促進 住宅 常葉下船尾雇用促 進住宅 いわき市中央台 高久第8応急仮設住宅	市内の仮設住宅において、浜〇かふえ（はま まるかふえ・訪問カフェ）を開催し、入居者 相互のコミュニケーションをはかる 交流を深め、ニーズを把握し、スムーズな支 援を行う
7	浄土宗 浄土宗浅草組青年会	宮城県 女川町・新田仮設住宅	仮設住宅の夏祭りの手伝い 参加者に配られ る焼きそばなどの食品の調整の手伝い 腕輪 念珠作り ワークショップの開催 支援物資の 提供
8	浄土宗 大分教区 浄土宗青年会	岩手県 大船渡市 宮城県 気仙沼市	浄土宗大分教区で集めた米（大分米一升運 動）を被災者に配布する
9	(超宗派団体) 代表者の加盟団体・ 浄土宗 KTSK (傾聴に取り組む 宗教者の会)	宮城県 女川町・高白浜仮設住 宅 小屋取仮設住宅 横 浦北仮設住宅 大石原仮 設住宅	女川町内の仮設住宅を訪問し、お線香を配布 し傾聴活動を行う

第8次支援 支援団体一覧
(平成26年2月1日～8月31日)
1.被災地における支援活動

No.	所属団体名 活動団体名	支援先・対象者	内 容
10	浄土宗西山禅林寺派 専修寺	岩手県 陸前高田市 大船渡市 盛岡市	仮設住宅を訪問し、傾聴活動を行う
11	浄土真宗本願寺派 震災支援を続ける会	福島県 檜葉町	3回目となる檜葉町の子ども達を招いてのサマーキャンプ開催 ウォークラリーやカレーライス作り 夜店 花火大会 クラフト 他
12	浄土真宗本願寺派 災害被災者支援 ネットワーク・ 富山	福島県 南相馬市 鹿島区鹿島 字町	仮設住宅入居者の心の苦しみ、悲しみに寄り添う 氷見うどん とろろ昆布をつけたおにぎり 漬物 蒲鉾 海老のかき揚げ 昆布締め 日本酒 ビール ウーロン茶の提供 交流会において、ビンゴゲームや歌を歌い楽しい時間を過ごす
13	浄土真宗本願寺派 空知南組	福島県 川俣町・農村広場仮設 住宅	仮設住宅入居者の支援 炊き出しを通じて交流 ジンギスカン料理の提供 傾聴
14	浄土真宗本願寺派 震災支援 京都ネット	宮城県 気仙沼市・切通住宅 岩ヶ崎公園住宅 旭ヶ 丘学園	仮設住宅入居者の支援 ボディケアマッサージ 戸別訪問 個別読経 念珠作り 学生交流
15	浄土真宗本願寺派 普願寺 山あじさいの会	宮城県 気仙沼市・旧小泉中 学校仮設 南三陸町・波伝谷仮設 住宅	仮設住宅において、住民と交流 信州みそ作り おやき作り お茶会
16	浄土真宗本願寺派 筑紫女学園大学 宗教教育部 筑女ボランティア ネット	岩手県 釜石市・大石仮設団地 大槌町・大槌子供セン ター 花巻市・いわてゆっこ 花巻	被災地の子ども達との交流 花の種のプレゼント ひまわり畑の整備 草むしり 九州名物の鍋料理や餅を提供 傾聴ボランティア
17	浄土真宗本願寺派 ビハーラ “しが”	宮城県 名取市・閑上地区閑上 小学校運動場	津波被害で廃校になった小学校で、野球やサッカーが出来るように整備する 運動場の草取り 体育館の清掃 ケナフ畑の清掃
18	浄土真宗本願寺派 千代田女学園 中学校高等学校 ボランティア部	宮城県 仙台市・青葉区名取閑 上地区	傾聴ボランティア 支倉町サロンにご参加いただいた方からお話を聞く ハート型の花壇作成 体操を行う
19	浄土真宗本願寺派 龍谷総合学園 加盟校九州 ブロック	岩手県 大船渡市・碓石コミュ ニティーセンター 陸前高田市・小坂小学 校 森前地区	ハナナスの苗木を学校敷地内に植樹 雑草取り 傾聴 夏祭りの手伝い

第8次支援 支援団体一覧
(平成26年2月1日～8月31日)
1.被災地における支援活動

No.	加盟団体名 活動団体名	支援先・対象者	内 容
20	浄土真宗本願寺派 浄土真宗本願寺派 長野教区教務所 (ビハーラ長野)	宮城県 仙台市・仙台市復興公営住宅 御町5丁目公園仮設住宅 川内 借り上げ公営住宅 名取市・民間借り上げ住宅 岡田西町公園仮設住宅	仮設集会所において、食料の提供 傾聴 ゲーム
21	浄土真宗本願寺派 崇徳学園 崇徳中学高等学校 生徒会	広島県 広島市・安佐南区	激甚（土砂）災害による被災地の土砂か き出し
22	浄土真宗本願寺派 震災支援ネット びんご	福島県 南相馬市 いわき市 飯舘村 他	被災者との交流 物資支援
23	浄土真宗本願寺派 北海道教区空知組 「御同朋の社会をめ ざす運動」	岩手県 大槌町 宮古市	仮設住宅における「お茶っこ」活動を通 じて被災者のコミュニケーションをはか る おやつ提供やゲームを行う
24	浄土真宗本願寺派 北海道教区空知北組 寺庭婦人会	福島県 二本松市・真行寺青空市場 同朋幼稚園	復興支援野菜の収穫梱包 安全な野菜を被 災地へ届ける 青空市場のニーズ調査 北 海道内での支援者への随時報告
25	真宗大谷派 大谷大学 ボランティア有志	宮城県 仙台市・若林区日辺字沖田東 石巻市 鮎川浜鬼形山	仮設住宅「ニッペリア」にて交流会開催 お茶会 昼食の提供 合唱 太極拳の体験 牡鹿中学校の運動会にて、昼食提供の活 動補助 やきとり、かき氷のブース支援
26	真宗大谷派 フラット・ ウォーター・ プロジェクト	宮城県 亘理町・共同作業所「工房地 球村」 福島県 郡山市・郡山朝鮮初中級学校 福島市・北幹線第一仮設住宅 二本松市・同朋幼稚園 相馬郡新地町・森林仮設住宅 かんご屋仮設住宅 すずめ仮 設住宅 他	被災地を訪問し、仮設住宅や学校で、歌 遊び 絵本やおやつ提供などを通じて支 援
27	真宗大谷派 名古屋の坊主	宮城県 宮城郡七ヶ浜町 (仮設住宅6ヶ所)	仮設入居者とのコミュニケーション 線 香・ローソク配り 念珠作りなどのイベン ト開催
28	真宗大谷派 特定非営利活動団体 (NPO) 災害ボランティア ネット	宮城県 石巻市・北高飯野川仮設住宅 追波川河川運動公園多目的広 場 森林公園仮設住宅 山崎前 仮設住宅 仮設河北三反走団 地	仮設住宅を訪ね、物資・炊き出しの支援 を行う

第8次支援 支援団体一覧
(平成26年2月1日～8月31日)
1.被災地における支援活動

No.	加盟団体名 活動団体名	支援先・対象者	内 容
29	真宗大谷派 高田教区 震災支援有志会	宮城県 石巻市・仮設寄磯浜赤島 団地 五梅沢団地 福島県 二本松市・真行寺	仮設入居者の支援 炊き出し 傾聴
30	真宗大谷派 真宗大谷派奥羽教区 ボランティア 有志の会	岩手県 大槌町・吉里吉里第5仮 設住宅 小槌第6仮設住宅 宮古市・旧愛宕小学校仮 設住宅	炊き出し 傾聴
31	臨済宗妙心寺派 花園禅塾	岩手県 陸前高田市・仮設住宅 「モビリア」 華蔵寺 慈 恩寺 鹿隣祥院 大槌町・江岩寺 和野っ 子ハウス 学童支援セン ター 宮城県 宮城郡松島町・瑞巖寺	仮設住宅入居者の支援 追善法要 炊き出し うどん打ち 編み物 子どもたちとの交流会
32	曹洞宗 曹洞宗岩手県宗務所 ボランティア センター	岩手県 釜石市・甲子町第7仮設 住宅 大槌町・中央公民館	行茶傾聴活動により笑顔を届ける 仮設を抜 け出し、公園やショッピングセンターを散 策してもらう レクリエーション・音楽会で 楽しんでもらう
33	曹洞宗 曹洞宗山形県 第三宗務所 ボランティア協議会	宮城県 石巻市 南三陸町 (仮設住宅20カ所)	仮設住宅において、行茶（お茶会）の開催 食品提供 共に語る 傾聴 慰霊法要
34	曹洞宗 チーム・カワカミ	宮城県 石巻市・法山寺幼稚園	第4回復興盆踊り花火大会のサポート
35	曹洞宗 曹洞宗長野県 第2宗務所青年会	兵庫県 丹波市・市島町 宗福寺 石像寺	集中豪雨による土砂の撤去
36	曹洞宗 宮城県曹洞宗青年会	宮城県 石巻市 多賀城市	仮設住宅の入居者の息抜きを提供 傾聴 数珠づくり 匂い香袋 写経 写仏
37	神奈川県仏教会 神奈川県 仏教青年会救援局	福島県 南相馬市・鹿島小池第1 地区コミュニティーセン ター	そうめん、かき氷を中心とした炊き出し 傾聴

第8次支援 支援団体一覧
(平成26年2月1日～8月31日)
2.被災地の子どもたちを対象とした保養活動への支援

No.	加盟団体名 活動団体名	支援をうける子どもたちの 居住地域	内 容
1	高野山真言宗 宝塚保養キャンプ 実行委員会	福島県 福島市 栃木県 大田原市 塩谷町	原発事故で被害を受けた子ども達の心と体の保養 お寺でキャンプ
2	高野山真言宗 レインボーキャンプ ふくおか実行委員会	岩手県 大槌町 釜石市	被災児童と保護者を福岡に招いて夏休みを過ごし、福岡の支援者との縁を深める
3	真言宗醍醐派 総本山醍醐寺	岩手県 宮古市	醍醐寺少年少女の集いに被災地の子ども達に参加してもらい、全国の子ども達と交流を行い、お互いの心を思う気持ちを育む
4	浄土宗 ふくしまっ子 Smileプロジェクト	福島県 いわき市 須賀川市 郡山市 会津若松市	放射能の影響による様々なストレスや不安を抱えた子ども達に、安全な地域でサマーキャンプを行い、のびのびと自由に屋外で遊び、健やかに成長を願う
5	浄土宗 公益財団法人 浄土宗 ともいき財団	福島県 全域	福島県内、特に子どもを持つ家庭では、食に対する安全性が問題になっている。長期の避難生活や放射能の影響で、ストレスによる家族の離散やDVが深刻化している。そこで稲作を家族や親子で体験し、コミュニケーションを深め、ストレスを軽減する
6	浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」 北海道教区委員会	福島県 郡山市 伊達市 いわき市 福島市	北海道内において保養事業「ほっこりプロジェクト」を開催し、被災地の子どもたちの保養を行う
7	浄土真宗本願寺派 オアシスin日高	福島県 郡山市 伊達郡国見町 西 白河郡中島村 他	被災地の子ども達を夏休みの一定期間、北海道日高で保養させ、精神的な開放感と免疫力を回復させる
8	浄土真宗本願寺派 心のふるさと交流 実行委員会	宮城県 仙台市 福島県 いわき市 会津若松市 福 島市 田村市	東北の子ども達を対象に夏休み期間中、西本願寺の参拝や、鹿児島でのホームステイを通じて、こころと体の健康を取り戻す。この活動により、お念仏をご縁として、社会の問題へ積極的に関わっていく事を目的とする

第8次支援 支援団体一覧
 (平成26年2月1日～8月31日)
 2.被災地の子どもたちを対象とした保養活動への支援

No.	加盟団体名 活動団体名	保養を受ける 子どもたちの地域	内 容
9	浄土真宗本願寺派 たかつき 保養キャンプ・ プロジェクト	福島県 福島市 いわき市 郡山市	福島原発で被災した子ども達の保養 夏休み を利用し「たかつき保養キャンプ」を開催し 保養を行う
10	浄土真宗本願寺派 「東北の子どもたちと 共にあゆむ」 宮崎実行委員会 事務局	福島県 福島市	被災地の子ども達を寺院に受け入れ保養させ る 朝のおつとめ 海水浴 そうめん流し ゲー ム
11	浄土真宗本願寺派 お寺ステイ 熊本実行委員会	宮城県 仙台市 福島県 福島市 栃木県 宇都宮市 他	震災被災の子ども達の保養 本山参拝 熊本 でのプール遊び お寺ステイ
12	浄土真宗本願寺派 浄土真宗本願寺派 高岡教区 災害対策委員会	福島県 飯館村	飯館村から避難を余儀なくされた子ども達の 保養 海水浴 昼食会 スイカ割り 砂遊び
13	浄土真宗本願寺派 来恩寺	福島県 田村市	田村市内の被災者に、茅ヶ崎市の来恩寺に来 寺していただき交流 追悼法要 宴会 仮設を まわり茶話会とゲーム 灯まつりでカキ氷 ヨーヨー 当てくじ
14	浄土真宗本願寺派 浄土真宗本願寺派 三次組	福島県 飯館村	原発事故被害者の保養「第3回被災者の声を 聞くホームステイin三次」を開催 三次市内 寺院でのホームステイを行い保養していただ く
15	浄土真宗本願寺派 安穏交流 プロジェクト	福島県 郡山市 本宮市 福島市 新潟県 北蒲原郡聖籠町	京都にて本山参拝 福岡にてホームステイ
16	浄土真宗本願寺派 「東北の子どもたちと 共にあゆむ」 大分実行委員会	福島県 郡山市	被災した子どもたちの保養 京都にて本山参 拝 大分にてホームステイ

第8次支援 支援団体一覧
(平成26年2月1日～8月31日)
2.被災地の子どもたちを対象とした保養活動への支援

No.	加盟団体名 活動団体名	保養をうける 子どもたちの地域	内 容
17	浄土真宗本願寺派 浄土真宗本願寺派 一乗寺	福島県 郡山市 いわき市 福島市 栃木県 那須塩原市	被災者を北海道にて一時保養を行う 保養家族の常時滞在用に、空き民家の整備を実施
18	浄土真宗本願寺派 保養受入 プロジェクト 実行委員会	福島県 郡山市	郡山市の被災した中学生の保養 YAMAKAIプロジェクトを開催し、良き夏の思い出と学習の場を作る 福島在住のお母さんの話を聞き、福島の今を知る
19	真宗大谷派 真宗大谷派山形教区 復興支援企画室	福島県 在住の親子	福島原発の被災者の保養 ふれあい交流学習会の開催 工作 外遊び 川あそび
20	真宗大谷派 キッズふくしま 実行委員会	福島県 福島市 二本松市 郡山市 いわき市	被災地の子ども達の保養 「キッズ福島ふくしまサマーキャンプinたかだ」を開催
21	真宗大谷派 福島から遊びに おいでよ飛騨高山へ 2014 実行委員会	福島県 全域	福島県の被災した子どもたちを高山市内のサマーキャンプにて保養
22	真宗大谷派 YYG実行委員会	福島県 福島市 二本松市	震災被災の子ども達・家族の保養 サマーキャンプ
23	真宗大谷派 「福島のこどもたち を三重へ」 プロジェクト 実行委員会	福島県 檜葉町 飯館村 二本松市 郡山市 白河市 須賀川市	「放射能がない場所で遊びたい」という子供たちの願い、「健やかに育てほしい」という親の願いに答えたい 思いっきり遊んで、笑って、食べる
24	真宗大谷派 福島一時保養 プロジェクト 実行委員会	福島県 いわき市 郡山市 白河市 二本松市 伊達郡国見町	福島県で、低線量被曝をしている子ども達に、少しでも安全な環境で過ごしてもらう 「第2回福島一時保養プロジェクト～長崎にゆたーっとしに来んね！」を開催

第8次支援 支援団体一覧
(平成26年2月1日～8月31日)
2.被災地の子どもたちを対象とした保養活動への支援

No.	加盟団体名 活動団体名	保養をうける 子どもたちの地域	内 容
25	真宗大谷派 terraねっと福井	福島県 いわき市 白河市 福島市 郡山市 泉崎村	福島の子どもの保養 サマーキャンプ「さばCANの夏2014」の開催
26	真宗佛光寺派 NPO法人 殿下未来工房	福島県 南相馬市 福島市 伊達市 郡山市 会津若松市	震災被災者の保養 被災者を福井市殿下地区に招き、地区の空家を利用し、ホームステイを行い交流を行う
27	曹洞宗 曹洞宗青森県宗務所	岩手県 下閉伊郡山田町 福島県 会津若松市 南相馬市	被災地のスポーツ少年団を招き支援する こども禅サマー合宿の開催 スポーツによる交流
28	曹洞宗 TEAM PAY	岩手県 大船渡市	被災地の子どもたちをスポーツを通じて支援 遠出して、スキーを楽しんでもらう 高原へバスで移動し、夏ならではの活動を楽しんでもらう 散策 インラインスケート 星観察
29	曹洞宗 曹洞宗長野県 第一宗務所青年会	福島県 全域	長野県内にてサマーキャンプ「福島こども自然ふれあい広場in長野」を開催
30	曹洞宗 熊本県 曹洞宗青年会	福島県 福島市 伊達市 いわき市 伊達郡 他	被災地の子どもたちを九州で保養 いるかウオッチング 陶芸絵付け 海水浴 座禅体験 魚釣り バーベキューと流しそうめん
31	日蓮宗 永照寺ボランティア グループ マイトレーヤ	福島県 双葉郡広野町	福島原発および津波で被災した子どもたちと、山梨へ避難して来た子どもたちとの合同サマーキャンプを行い、保養をさせる
32	全日本仏教青年会	福島県 全域	福島県内の子どもたちと、茨城の子どもたちが交流し、相互理解を深める

第9次支援 支援団体一覧
(平成26年9月1日～平成27年1月31日)
1.被災地における支援活動

No.	加盟団体名 活動団体名	支援先・対象者	内 容
1	天台宗 栃木県 天台仏教青年会	栃木県 宇都宮市 宇都宮バンパ市 民広場	「第2回東北復興応援広場」を開催し復興支援を行った 当日の募金43,643円を、あしなが東日本大震災遺児支援募金へ寄付した
2	天台宗 埼玉天台仏教青年会	宮城県 南三陸町・石浜コミュニ ティーセンター	現地の方とともに作業を行う事を通じて傾聴を行った 春に収穫するワカメの種付け作業、秋鮭漁手伝い、定置網の回収作業を補助
3	真言宗醍醐派 秋葉山大宝院	宮城県 石巻市・たんぼぼの家 釜 会館 釜地区、大街道地区広場	写経を通して地域の交流を促す 在宅被災者の整体ボランティアや、地域のどんと祭を行った
4	浄土宗 心光寺	宮城県 石巻市・仮設新栄団地	傾聴ボランティア 炊き出し 炊き出し支援 「居酒屋」 子ども遊び広場住民との交流会
5	浄土宗 気仙沼を応援する会	宮城県 気仙沼市・切通住宅 新月 中学校住宅 東新城一丁目 住宅	支援物資の配布 談話会開催 一人暮らしの方に現在様子を伺う
6	浄土宗 公益財団法人 浄土宗ともいき財団	福島県 全域	福島県内、特に子どもを持つ家庭では、食に対する安全性が問題になっている 長期の避難生活や放射能の影響でストレスによる家族の離散やDVが深刻化している そこで稲作（稲刈り）を家族や親子で体験しコミュニケーションを深め、ストレスを軽減する
7	浄土宗 浄土宗浅草組青年会	岩手県 大槌町・おさなご幼稚園 小槌第5仮設団地集会所 小槌第12仮設団地集会所	幼稚園 仮設住宅を訪問して、マジシャンによる手品の披露 落語家による落語の披露 お菓子の配布 支援物資の提供
8	(超宗派団体) 代表者の所属団体・ 浄土宗 KTSK (傾聴に取り組む宗教 者の会)	宮城県 女川町・町営第二運動場 仮設住宅	女川町内の仮設住宅を訪問し、仏具配布（お線香）を配布し傾聴活動を行う

第9次支援 支援団体一覧
 (平成26年9月1日～平成27年1月31日)
 1.被災地における支援活動

No.	加盟団体名 活動団体名	支援先・対象者	内 容
9	浄土宗西山禅林寺派 専修寺	岩手県 陸前高田市・長砂仮設住宅 下和野団地 永沢仮設住宅	仮設住宅の集会所や個人の部屋などで被災者などから傾聴 将来の不安や生き死に関する話が多い
10	浄土真宗本願寺派 オアシスin日高	福島県 郡山市・少年湖畔の村	昨夏に北海道で保養に参加した被災地の親子に、郡山市でイベントを行い安全な食（北海道のジャガイモ）を提供する
11	浄土真宗本願寺派 普願寺 山あじさいの会	宮城県 気仙沼市・旧小泉中学校 仮設住宅 南三陸町・波伝谷仮設住宅	仮設住宅において、支援物資を持参し年末の餅つきを行い交流会や人形劇を上演する
12	浄土真宗本願寺派 災害被災者支援 ネットワーク・富山	福島県 南相馬市鹿島区・鹿島字 町 勝縁寺	仮設住宅入居者の心の苦しみ、悲しみに寄り添う 餅つき 漬物 蒲鉾 日本酒 ビール ウーロン茶の提供 交流会において、ビンゴゲームや歌を歌い楽しい時間を過ごす
13	浄土真宗本願寺派 震災支援を続ける会	宮城県 亘理町・館南 旧館 中央 工業団地の仮設住宅	歌手（ウーミン他）によるミニライブ おしゃべりサロン 炊き出し 傾聴活動
14	浄土真宗本願寺派 浄土真宗本願寺派 北海道教区十勝組	宮城県 仙台市宮城野区・専能寺 岡田西町仮設住宅 福島県 相馬市・勝縁寺 二本松市・真行寺	支援活動者や被災地寺院住職の話しを聞く 支援物資を届ける 仮設住宅で茶話会を行う
15	浄土真宗本願寺派 浄土真宗本願寺派 長野教区河東組	宮城県 南三陸町波伝谷・農地 仮設住宅 神割崎仮設住宅	農地復旧の為、草刈・草の根除去作業 表層部掘り起し 仮設住宅の集会場にてすいとんの炊き出し りんご・葡萄の配付 ゲームで交流
16	浄土真宗本願寺派 震災支援京都ネット	宮城県 女川町・女川町地域福祉 センター内仮設住宅 気仙沼市・切通仮設住宅 鹿折中学校仮設住宅	仮設住宅入居者の支援 ボディケアマッサージ 戸別訪問 個別読経 たこやき作り 林家菊丸さんの落語会

第9次支援 支援団体一覧
 (平成26年9月1日～平成27年1月31日)
 1.被災地における支援活動

No.	加盟団体名 活動団体名	支援先・対象者	内容
17	浄土真宗本願寺派 浄土真宗本願寺派 長野教区教務所 (ビハーラ長野)	宮城県 名取市・箱塚桜仮設住宅 集会所 雇用促進住宅愛島 宿舎集会所 東松島市・小野中央ミニ 公園仮設住宅談話室 根古 地区センター 仙台市・柳生地区サロン	民間借り上げ住宅・仮設住宅入居者のコミュニ ケーション不足解消のため 信州そばの提 供を中心に、綿アメ・ポップコーン・信州産 りんごの配付・お楽しみ抽選会等 心のケア を含め支援会を行う
18	浄土真宗本願寺派 東日本災害復興支援 ボランティア プロジェクトチーム	宮城県 名取市・閑上 石巻市・網地島 桃浦字蛤 浜	支援活動を通じて、これからの大学生活の糧 となる何かを見つける 遺留品の整理 閑上小 学校の草刈・校内清掃 芋煮会の手伝い 地元 野球小学生チームとの交流 浜の清掃活動等
19	浄土真宗本願寺派 徳島県阿南市 台風災害復興支援 及び農業体験 ボランティア プロジェクトチーム	徳島県 阿南市加茂谷 (2014. 8. 11 台風11号による被災地 域)	被災地域の復興活動や農業体験を通じて学生 の成長を目指す 一班20名程の参加学生が被災 地域の農家に滞在し、倒壊・冠水して使え なくなったビニールハウスの撤去や、ゴミの 除去等の作業を、地域の方々と協働して取り 組んだ
20	浄土真宗本願寺派 筑紫女学園大学 宗教教育部 筑女ボランティア ネット	岩手県 釜石市・荒川公民館 大槌町・大槌こどもセン ター 大船渡市・夢商店街夢市 場	大船渡復興夢商店街の夢市場に参加 福岡の 名産である梅が枝餅を作ってふるまう 妖怪ウオッチ体操を踊り、子供たちと交流を 行う 水炊きや、がめ煮を提供する
21	浄土真宗本願寺派 高岡教区 ボランティア (高岡教区 災害対策委員会)	福島県 飯館村・吉倉宿舎 福島市松川町・松川第2仮 設住宅 伊達郡国見町・国見上野 台応急仮設住宅	全村避難の飯館村の仮設住宅の方々と餅つき うどん(とろろ昆布・昆布巻き蒲鉾のトッピ ング)の炊き出し 傾聴
22	浄土真宗本願寺派 浄土真宗本願寺派 三次組	宮城県 南三陸町・寄木住宅 福島県 いわき市・好間保育所 飯野町・飯館村飯野支所 国見町・大木戸仮設住宅 南相馬市・勝縁寺	被災地を訪ね、食事交流会を開催 被災者と 餃子づくり 傾聴活動 他
23	真宗大谷派 真宗大谷派 金沢災害支援 ネットワーク	宮城県 仙台市若林区・「ニッペ リヤ」 福島県 二本松市 南相馬市	現地に身を運び、そこで生活されている方々 の声を聞き、震災後・原発事故後を生きるこ との「今」を心に刻む 青空市場のための野 菜のお届け 傾聴
24	真宗大谷派 能登教区災害 ボランティア 委員会	福島県 郡山市・郡山南仮設住宅 二本松市・真行寺	米、水、洗剤など物資提供

第9次支援 支援団体一覧
(平成26年9月1日～平成27年1月31日)

1.被災地における支援活動

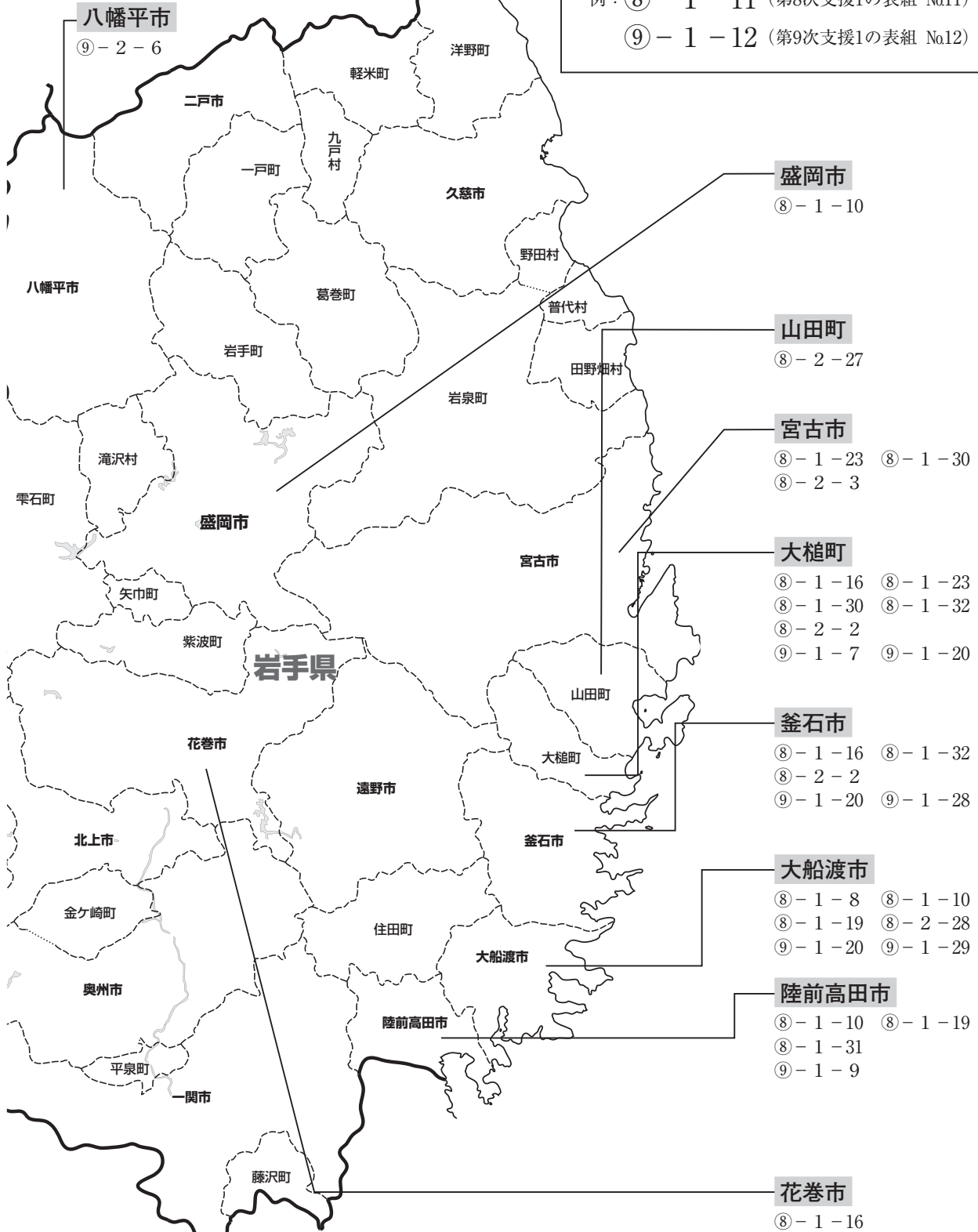
No.	加盟団体名 活動団体名	支援先・対象者	内 容
25	真宗大谷派 特定非営利活動法人 災害ボランティア ネット	宮城県 石巻市・北高飯野川仮設 住宅 追波川河川運動公 園多目的広場 森林公園 仮設住宅 山崎前仮設住 宅 仮設河北三反走団地	仮設住宅を訪ね、物資・炊き出しの支援を行 う
26	融通念佛宗 融通念佛宗青年会	福島県 いわき市・雇用促進住宅 常盤宿舎 磐城宿舎 災害 公営住宅豊間団地	仮設住宅の住民の方々に「本場大阪のたこや き」のふれこみで、たこ焼き交流会を行いな がら傾聴活動を行う
27	臨済宗妙心寺派 一期一會 (音楽法話バンド)	宮城県 石巻市・禅昌寺 宮城郡七ヶ浜町・金剛寺	心の歌コンサート・音楽法話「いのちの歌を 響かせて」を開催し、心の復興をめざす
28	曹洞宗 曹洞宗岩手県宗務所 ボランティア センター	岩手県 釜石市・甲子町第7仮設 住宅 平田第2仮設住宅	傾聴サロン活動、バス遠足により、住民の心 の癒しをはかる 仮設団地や、みなし仮設団地 の草とり
29	曹洞宗 TEAM PAY	岩手県 大船渡市・大船渡市体育 協会スポーツ少年団	継続的に支援している大船渡市スポーツ少年 団に対し、インラインスケート講習を行いス ポーツ活動を通じて少年少女の夢を育てる
30	曹洞宗 山形県 第三宗務所婦人会	宮城県 塩釜市・塩釜仲卸市場 松島観光物産館 東松島市・野蒜地区 大曲浜地区 長音寺	被災地を訪問し研修 現地の市場で参加者がそ れぞれ買い物を行う 震災語り部による説明の 聴取 地藏・慰霊塔にて仏花を手向け御詠歌を 奉詠
31	曹洞宗 群馬県 曹洞宗青年会	福島県 南相馬市・小高地区 原 町地区 双葉郡浪江町	慰霊法要 塔婆建立 傾聴 農地除草 ビニールハウス解体補助
32	曹洞宗 曹洞宗山形県 第三宗務所 ボランティア協議会	宮城県 石巻市 南三陸町 (仮設住宅20カ所)	仮設住宅において、行茶（お茶会）の開催 食 品提供 共に語る 傾聴 慰霊法要
33	日蓮宗 特定非営利活動法人 災害危機管理システム Earth（アース）	兵庫県 神戸市・三宮	阪神淡路大震災から20年目の神戸において、 一救済者から慈悲行の実践を行い、復興支援 する

第9次支援 支援団体一覧
 (平成26年9月1日～平成27年1月31日)
 2.被災地の子どもたちを対象とした保養活動への支援

No.	加盟団体名 活動団体名	保養をうける 子どもたちの地域	内 容
1	浄土宗 ふくしまっ子 Smileプロジェクト	福島県 いわき市(中央台高久第1 応急仮設住宅) 須賀川市 郡山市 会津若 松市	放射能の影響による様々なストレスや不安を 抱えた子ども達に、安全な地域(長野市・松 代、善光寺)で、のびのびと自由に屋外で遊 ぶことで、健やかな成長を願う
2	浄土真宗本願寺派 一乗寺内 たどしこぶしの会	福島県 南会津郡只見町 川内村 伊達市	北海道に避難している被災者に保養と交流を 行う 除夜の鐘を体験する
3	浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会を めざす運動」 北海道教区委員会	福島県 福島市 郡山市 茨城県 水戸市 栃木県 大田原市	北海道内において保養事業「ほっこりプロ ジェクト」を開催し、被災地の子どもたちの 保養を行う
4	真宗大谷派 福島こども保養基金	福島県 福島市	秋田県三郷町に、福島の子どもたちを招き保 養させる
5	真宗大谷派 でらやっかいな 仲間たち	福島県 二本松市他、福島県全域	岩手県八幡平温泉郷にて、被災地の子どもた ちの保養をさせる
6	真宗大谷派 大谷大学 東日本大震災 復興支援 ボランティア有志	岩手県 八幡平市プータロ村	真宗大谷派「東北三教区こどものつどいIn八 幡平のスタッフとして学生・教職員21名で参 加し、保養事業全体をサポート
7	真宗大谷派 東北三教区こどもの つどい実行委員会	岩手県 宮城県 福島県 の被災地域	真宗大谷派「東北三教区こどものつどいIn八 幡平」を開催し被災地の子ども達の保養を行 う
8	真宗大谷派 福島と名古屋をむす ぶ子ども会in東別院	福島県 二本松市 (学校法人同朋学園同朋 幼稚園園児)	被災地の子どもたちの保養

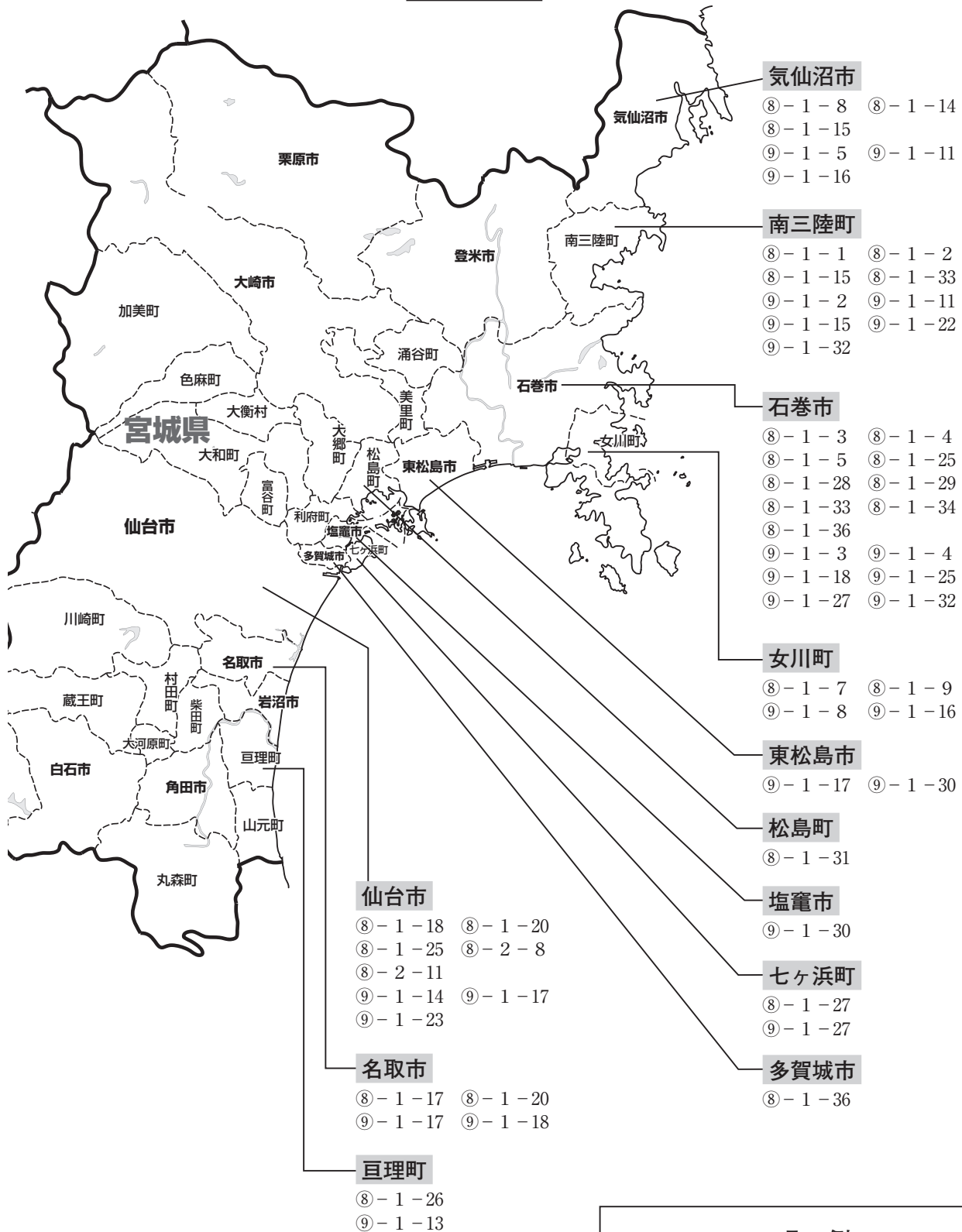
第8・9次 被災地支援活動団体分布図

岩手県



(県内被災地) ⑨ - 2 - 7

宮城県



凡例

例：⑧-1-11 (第8次支援1の表組 No11)

⑨-1-12 (第9次支援1の表組 No12)

福島県

福島県全域

- ⑧-2-5
- ⑧-2-19
- ⑧-2-21
- ⑧-2-29
- ⑧-2-32
- ⑨-1-6
- ⑨-2-5
- ⑨-2-7

福島市

- ⑧-1-26 ⑧-2-1 ⑧-2-6 ⑧-2-8
- ⑧-2-9 ⑧-2-10 ⑧-2-11 ⑧-2-15
- ⑧-2-17 ⑧-2-20 ⑧-2-22 ⑧-2-25
- ⑧-2-26 ⑧-2-30
- ⑨-1-21 ⑨-2-3 ⑨-2-4

二本松市

- ⑧-1-24 ⑧-1-26 ⑧-1-29 ⑧-2-20
- ⑧-2-22 ⑧-2-23 ⑧-2-24
- ⑨-1-14 ⑨-1-23 ⑨-1-24 ⑨-2-5
- ⑨-2-8

郡山市

- ⑧-1-26 ⑧-2-4 ⑧-2-6
- ⑧-2-7 ⑧-2-9 ⑧-2-15
- ⑧-2-16 ⑧-2-17 ⑧-2-18
- ⑧-2-20 ⑧-2-23 ⑧-2-24
- ⑧-2-25 ⑧-2-26
- ⑨-1-10 ⑨-1-24 ⑨-2-1
- ⑨-2-3

本宮市

- ⑧-2-15

南相馬市

- ⑧-1-12 ⑧-1-22
- ⑧-1-37 ⑧-2-26
- ⑧-2-27
- ⑨-1-12 ⑨-1-22
- ⑨-1-23 ⑨-1-31

相馬市

- ⑨-1-14

新地町

- ⑧-1-26

只見町

- ⑨-2-2

浪江町

- ⑨-1-31

川内村

- ⑨-2-2

広野町

- ⑧-2-31

樽葉町

- ⑧-1-11
- ⑧-2-23

白河市

- ⑧-2-23
- ⑧-2-24
- ⑧-2-25

泉崎村

- ⑧-2-25

中島村

- ⑧-2-7

いわき市

- ⑧-1-6 ⑧-1-22 ⑧-2-4
- ⑧-2-6 ⑧-2-8 ⑧-2-9
- ⑧-2-17 ⑧-2-20 ⑧-2-24
- ⑧-2-25 ⑧-2-30
- ⑨-1-22 ⑨-1-26 ⑨-2-1

会津若松市

- ⑧-2-4
- ⑧-2-8
- ⑧-2-26
- ⑧-2-27
- ⑨-2-1

飯館村

- ⑧-1-22
- ⑧-2-12
- ⑧-2-14
- ⑧-2-23
- ⑨-1-21
- ⑨-1-22

川俣町

- ⑧-1-13

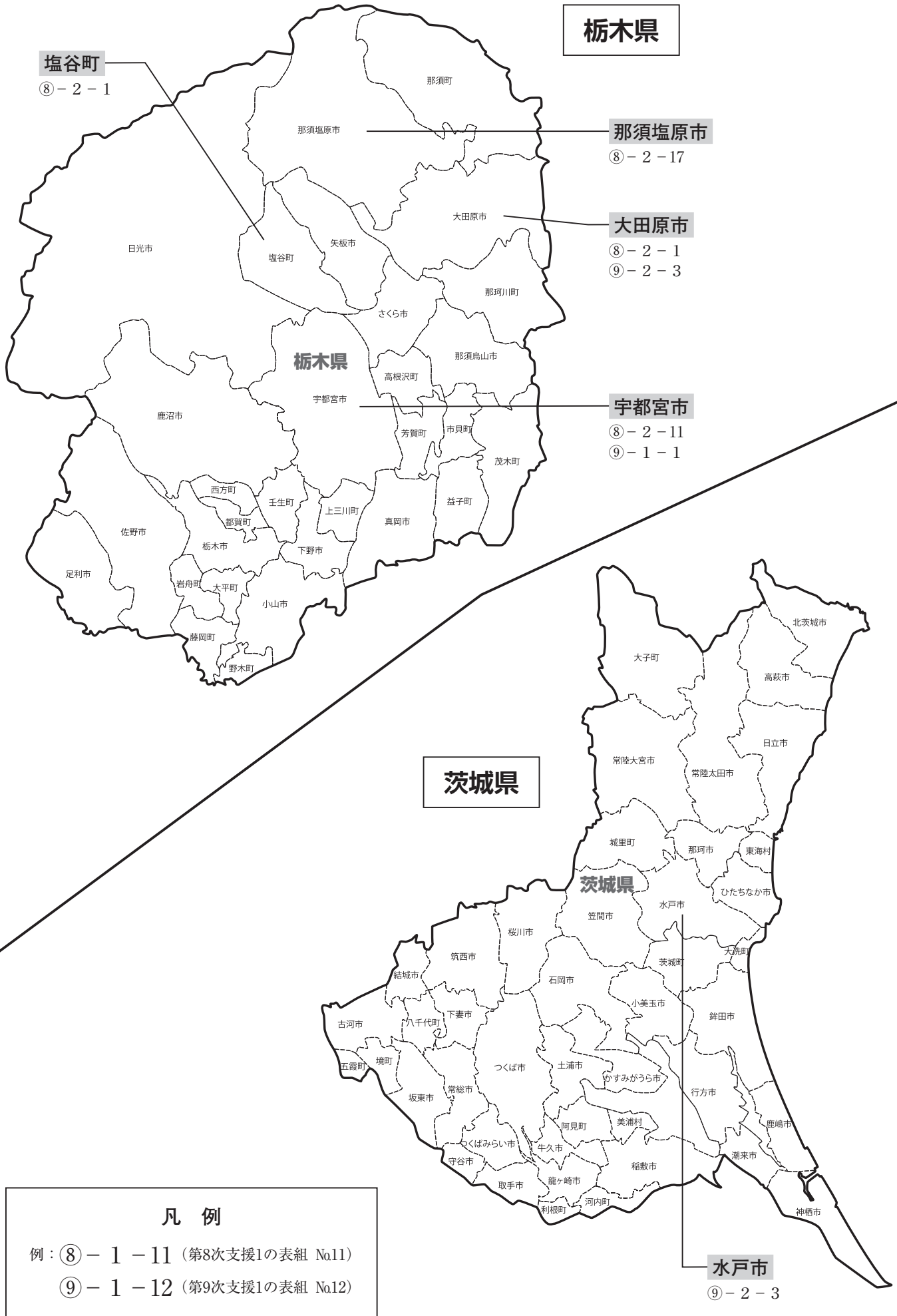
須賀川市

- ⑧-2-4
- ⑧-2-23
- ⑨-2-1

凡 例

例：⑧-1-11 (第8次支援1の表組 No.11)

⑨-1-12 (第9次支援1の表組 No.12)



栃木県

塩谷町
⑧ - 2 - 1

那須塩原市
⑧ - 2 - 17

大田原市
⑧ - 2 - 1
⑨ - 2 - 3

栃木県

宇都宮市
⑧ - 2 - 11
⑨ - 1 - 1

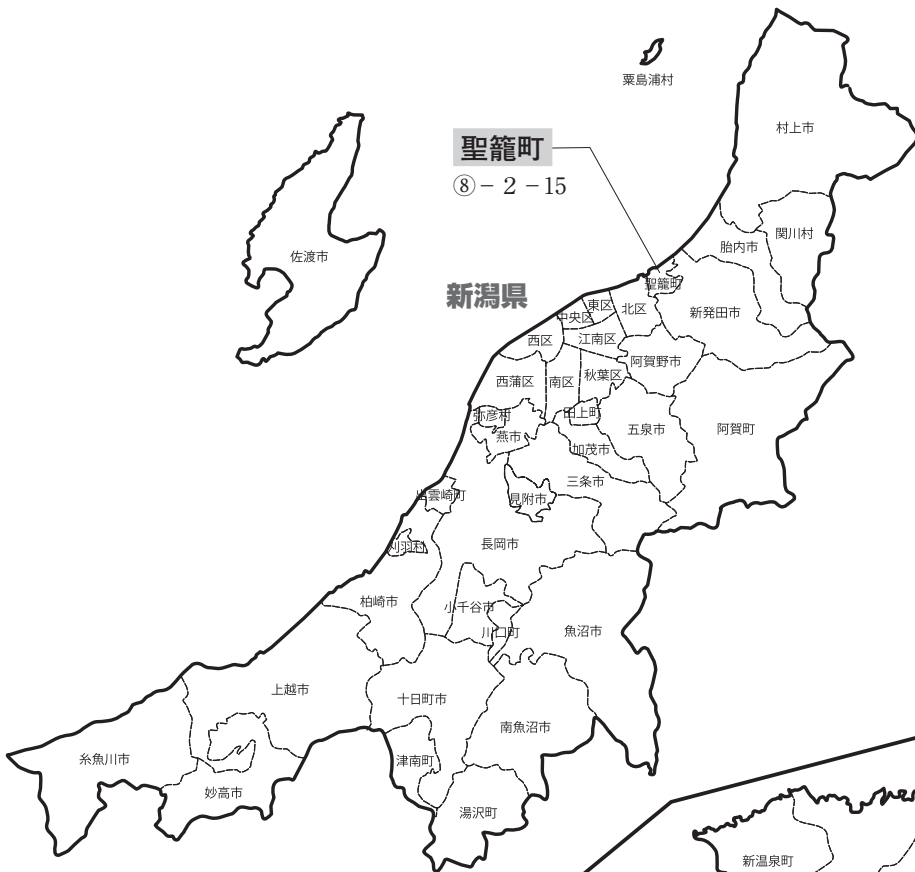
茨城県

茨城県

水戸市
⑨ - 2 - 3

凡 例
 例：⑧ - 1 - 11 (第8次支援1の表組 No.11)
 ⑨ - 1 - 12 (第9次支援1の表組 No.12)

新潟県



兵庫県



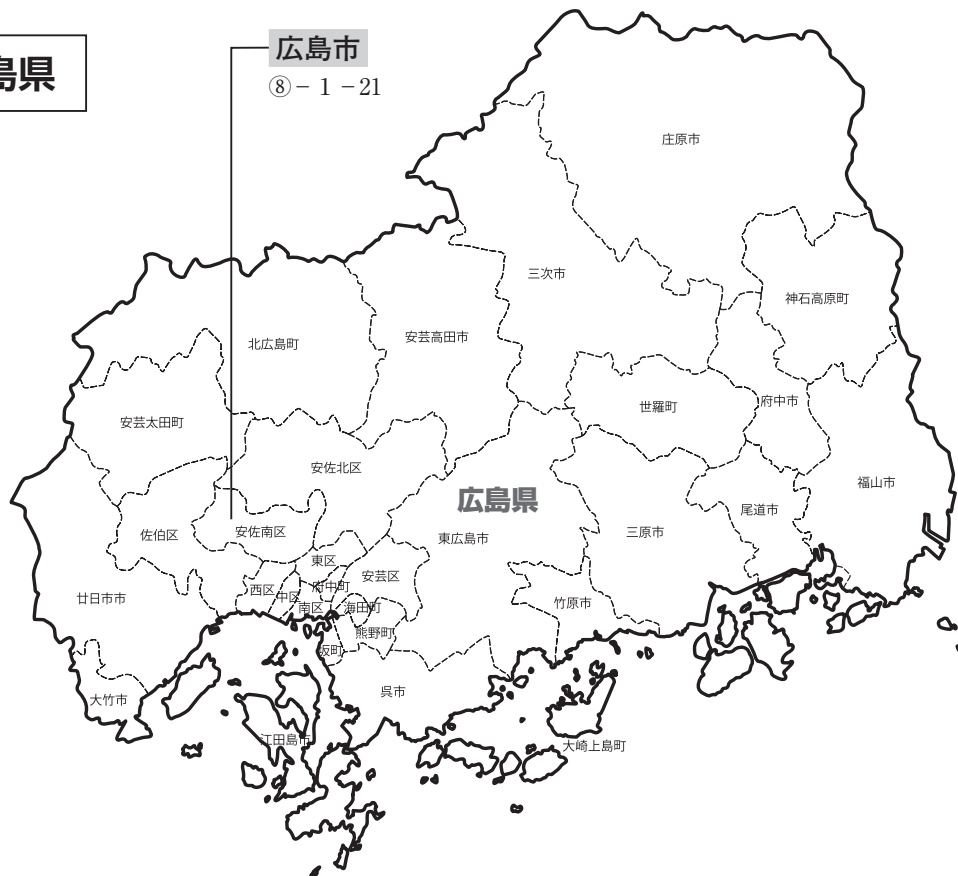
丹波市
⑧-1-35

神戸市
⑨-1-33

凡例

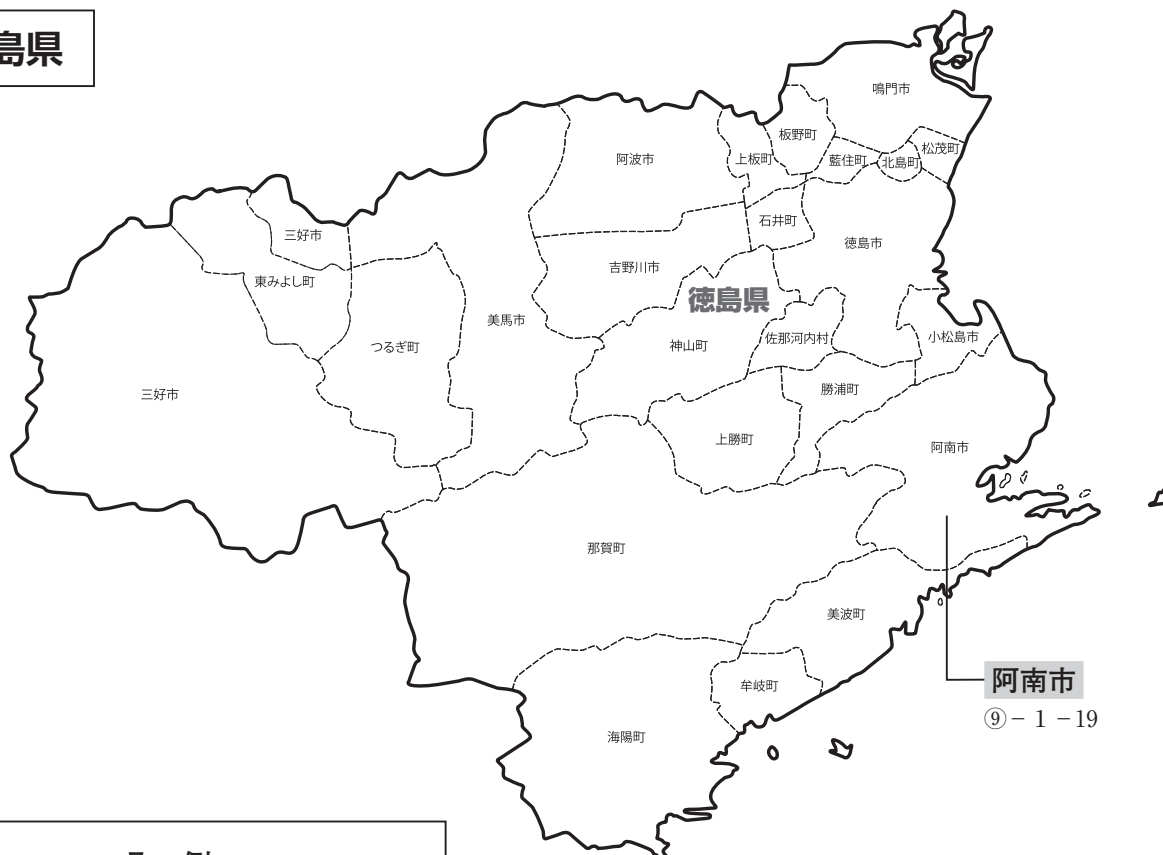
- 例：⑧-1-11 (第8次支援1の表組 No.11)
- ⑨-1-12 (第9次支援1の表組 No.12)

広島県



広島市
⑧ - 1 - 21

徳島県



阿南市
⑨ - 1 - 19

凡例

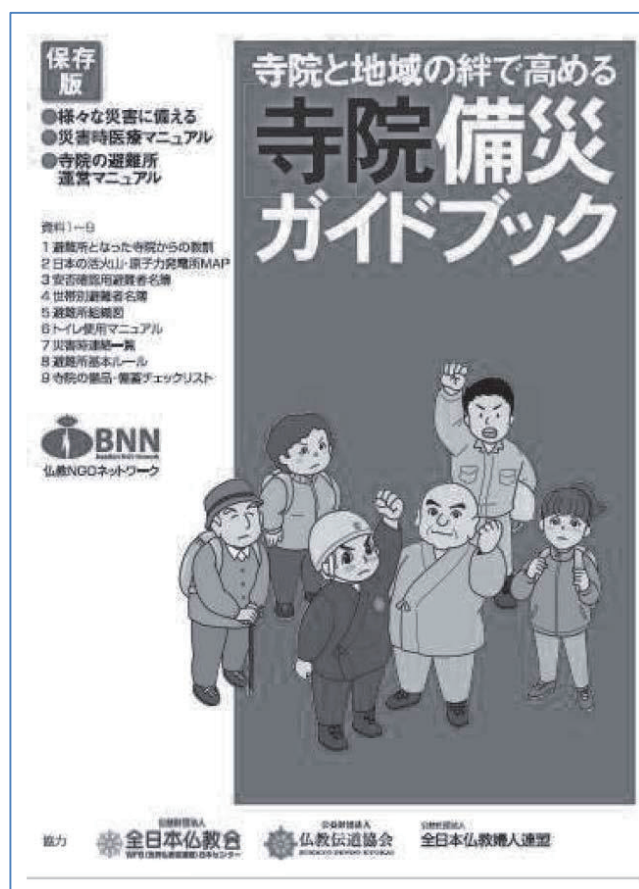
例：⑧ - 1 - 11 (第8次支援1の表組 No.11)

⑨ - 1 - 12 (第9次支援1の表組 No.12)

ぜひ「寺院備災ガイドブック」を、寺院や団体に備えましょう

東日本大震災では、東北地方を中心に多くの寺院が、地域の被災者を受け入れる避難所となり、寺院が長い歴史の中で説き続けてきた「いのち」と「人と人が助け合うこと」の大切さを人々に示す場所となりました。同時に、災害と向かい合った方々の貴重な意見が、全国の寺院へ届いていないという現状もあります。

そんな中、BNN（仏教 NGO ネットワーク）では、「備災（災害に備える）」をテーマに、東日本大震災で被災または避難所となった寺院からの意見をまとめた、「寺院備災ガイドブック」を作成しました。寺院固有の備えるべき災害対策を中心に、「今、寺院が寺院に伝えたい」情報をイラストとともに紹介した一冊になっています。全日本仏教会も製作に協力し、「救援基金」より120万円の支援を行いました。



内容は、「備えておけばよかったもの」「苦労したこと」など、寺院目線での備えを具体的に紹介し、避難所を開設することを想定したマニュアルや、風水害・火山噴火・原発事故などへの備災知識、怪我への対処法として緊急医療処置法も掲載しております。さらに、そのまま使用できる避難者名簿や備品チェックリストも掲載されております。

「起こるかもしれない」「まだしていない」寺院の災害の備えとして、本ガイドブックをご活用いただければ幸いです。

発行：BNN（仏教 NGO ネットワーク）

協力：（公財）全日本仏教会 （公財）仏教伝道協会 （公社）全日本仏教婦人連盟

頒価：500円/1冊（送料込）

体裁：A4版カラー60ページ

申込先：BNNホームページ（<http://www.bnn.ne.jp>）よりお申込ください

仏教系ボランティア団体からの支援活動報告



お茶会、昼食の提供、並びに交流会
3月の交流会は男声合唱団との合唱、6月の交流会
では太極拳の体験をメインとしました。

(大谷大学ボランティア有志 第8次支援)



岩手県釜石市、大槌町等
子供たちに花の種をプレゼント。福岡の名産梅ヶ
枝餅を子供たちとつくり交流した。
陸前高田町にて地域住民と一緒にひまわり畑の整
理や草むしりを行った。

(筑紫女学園大学 宗教教育部
筑女ボランティアネット 第8次支援)



福島の子どもたちのための保養活動
永平寺お参り、ストラップ作り、川下り、自然の
中での遊び、ハイキング、海水浴等、バーベキュー
、花火大会等

(terra ネットと福井 第8次支援)



子どもたちの寺子屋体験
念珠作り、灯籠づくり、読経・座禅、献灯式等

(真言宗智山派 普誓寺 第8次支援)

仏教系ボランティア団体からの支援活動報告



写経会を計 9 回開催。気軽に仏教に触れ心安らいでいただくとともに、お茶っこで地域住人同士の交流の場を作る。

整体師 5 名をお招きし、整体ボランティアを行いました。

(秋葉山 大宝院 第 9 次支援)



インラインスケート講習会はすでに 4 年目を迎え、NPO 法人インラインスキー連盟の協力のもと、全日本デモンストレーターを召喚し、本格的なインラインスキー指導へ展開してきた。インラインスキー大会へ出場する選手への貸切りバスの提供を行った。

(TEAM PAY 第 9 次支援)



宮城県内 仮設住宅訪問

地域福祉センター内に在住の高齢者、知的障害者、母子センターに来られた親子へタコ焼きの提供、高齢者へボディケアマッサージ及び個別に読経と法話

談話室にて法話と林家菊丸さんのふれあい落語会

(震災支援京都ネット 第 9 次支援)



福島の子どもたちが放射線から離れることと、安心して十分な屋外活動をしてもらう支援、主に雪遊び(スキー、スケート、雪遊びなど)を中心に行いました。

(福島子ども保養基金 第 9 次支援)